

お わ り に

理事 横須賀研究所長 瀬間 徹



石炭は、供給安定性に優れ、かつ長期に亘って利用することが可能な燃料として、今後も重要なエネルギー源であり続けると考えられています。このような状況の中、温室効果ガスの排出量低減のための発電効率向上の観点から、石炭ガス化複合発電や石炭ガス化燃料電池複合発電などの新型高効率火力の開発に大きな期待が集まっていますが、高信頼性、低コスト性などの利点を考えますと、微粉炭火力は今後も重要な発電技術としての立場を維持していくものと考えられています。

当研究所では、石炭利用技術をエネルギー安定供給のキーテクノロジーの一つとして位置付け、様々な技術開発を行ってきており、さらなる技術の高度化に向け、新たな技術開発課題に戦略的に取り組むと共に、常に世界最高レベルの技術開発の拠点として、時代のニーズに合致した成果を発信し続ける所存です。このような状況に鑑み、一層の研究力強化の観点から、これまで用いられてきた設備に加え、より実機に近い研究設備である「石炭燃焼特性実証試験装置（MARINE炉）」を新設するなど、微粉炭火力のさらなる高度化に向けた今後の技術開発のため、研究体制の充実を図っています。

本レビューは、微粉炭火力技術に関する当所のこれまでの成果を中心に、今後の技術開発の展望も含めてまとめたものです。地球環境保全、燃料多様化など、微粉炭火力を巡る課題は益々多くなっています。今後も、一層有益な研究を実施していくため、是非ご一読頂き、様々なご意見、ご要望を賜われれば幸いです。